

■公共施設の老朽化対策

本町が管理している公共施設の中には老朽化が目立つ施設があり、建て替えや改修などを必要とするものが多くあります。このため、まず、町の基幹となる施設や避難所に指定されている施設、不特定多数の利用者が使用する施設等を対象に個別施設計画を策定し、施設の適切な運用と維持管理を図っていきたいと考えています。

■ふくおか県央環境広域施設組合

ふくおか県央環境広域施設組合における環境施設等の広域化につきましては、12月の定例会でも申し上げましたように、現在、桂苑及び嘉麻クリーンセンターについて建物等の調査を実施しているところです。その調査結果をもとに、施設の再編や大規模改修等について本格的な協議・検討を進めていくこととなります。本町としましては、広域化のスケールメリットを生かし、将来にわたる持続可能な業務の遂行を念頭に、環境負荷の低減や中長期的なコストの抑制が図れるよう努力しています。

きたいと考えています。

■子ども医療費支援事業

子ども医療費支援事業については、福岡県が補助の対象を現行の小中学生以下から中学生までに拡充する方針を打ち出しました。今回の県の拡充方針を受けて、本町でも子育て世帯の医療費負担を軽減し、安心して子どもを産み、健やかに育てられる環境の整備を目指して、子ども医療費に対する支援について充実を図りたいと考えています。



■国民健康保険事業

国民健康保険事業につきまして、平成30年度から県が財政運営の

責任主体となり、安定的で持続可能な運営を目指していますが、依然として厳しい財政状況が続いています。このため、これまでは令和2年度まで一人当たりの納付金額が平成28年度の水準を超えないこととされていましたが、県国保運営協議会はこれを見直し、令和2年度から平成28年度の水準を超える市町村負担を求める答申をしました。

このため、本町の令和2年度の納付金が約1,000万円増額される見通しになっていますが、国保税率を上げることなく、現行のままで運営していく所存でございます。

今後とも納付金算定の動向に注視しながら、国保財政の健全化を目指し、医療費適正化に向け、特定健診および特定保健指導の受診率の向上に取り組みたいと考えています。



■福祉バス等線路及び時刻変更

町民の皆様の移動支援、買い物支援等の充実を図ることを目的に、4月1日から「福祉バス」「買い物通院バス」の路線及び時刻表の変更を行います。変更内容につきましては、広報けいせん3月号と一緒に新しい時刻表を各家庭に配布しておりますので、ご確認ください。

